

平成22年度第2回大学院社会理工学研究科教授会議事の概要

(日 時) : 平成22年5月19日(水) 15時00分 ~ 15時50分

(場 所) : 大岡山西9号館コラボレーションルーム

(出席者) : 研究科長 他34名

配付資料

1. 授業関係について
2. 学生の異動について
3. 論文博士の審査員指名について
4. 東京医科歯科大学との学生交流に関する覚書(案)について
5. 学生交流協定に基づく授業科目履修希望者について
6. 教育研究評議会(5/7)
- 7-1. 部局長等会議(4/16)
- 7-2. 部局長等会議(5/7)

席上配付資料

- ・東工大の博物館・美術館協力事業の参加打ち切りについて

○ 定足数の確認

研究科長より、定足数の確認があった。

現員56名、公務出張者10名、現在員46名、定足数(2/1)23名、出席者35名

○ 議事要録(案)の確認

平成22年度第1回大学院社会理工学研究科教授会議事要録(案)

平成22年度第1回大学院社会理工学研究科教授会議事の概要(案)

1. 審議事項

(1) 授業関係について

研究科長より、「資料1」に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

(2) 学生の異動について

研究科長より、「資料2」に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

(3) 論文博士の審査員指名について

研究科長より、「資料3」に基づき説明があり、審議の結果、「博士課程修了予定者の論文受理及び審査員指名(22条適用)」にあたるのではないかとの指摘があり、表題を修正のうえ、こ

れを承認した。

(4) 東京医科歯科大学との学生交流に関する覚書(案)について

研究科長より、「資料4」に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

2. 報告事項

(1) 学生交流協定に基づく授業科目履修希望者について

研究科長より、「資料5」に基づき報告があった。

(2) 教育研究評議会(5月7日(金)開催)

副研究科長より、「資料6」に基づき、重要と思われる事項について説明・報告があった。

(審議事項)

ア 平成23年度以降の入学生の理学部学科所属の取り扱いについて

(審議事項)

ア 国立大学法人東京工業大学浸透圧発電研究センター規則の制定について

イ 国立大学法人東京工業大学職員等の栄誉の祝賀該当者の選考について

ウ 国立大学法人東京工業大学学長選考会議委員の選出について

エ 平成24年度東京工業大学学部入学者選抜の変更について

(報告事項)

ア 平成22年度大学院入学者選抜実施結果等について

イ 平成22年春の褒章・勲章受章者について

ウ 教員の処分について

エ 各部局等における教員人事(専任講師以上)の報告について

(教育研究に関する諸問題について)

(その他)

ア 「博士の未来とキャリアーPLIPが拓いた道」の開催について

イ 次回開催について

(3) 部局長等会議

研究科長より、「資料7-1」及び「資料7-2」に基づき、重要と思われる事項について説明・報告があった。

【4月16日(金)開催】

(意見交換事項)

(報告・連絡事項)

ア 平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について

イ 新入生キャンパスガイドの実施について

ウ 桜花観賞の実施結果について

エ 奨学寄付金受入審査会における受入金額の推移について

オ 平成22年度研究助成等一覧(H22.4.1~H22.4.14受付分)について

(部局等の現状と問題点について)

(その他)

ア 英文六つ折パンフレットの配布について

イ 次回開催について

【5月7日(金)開催】

(意見交換事項)

ア 東京工業大学テニュアトラック制度(改訂案)について

イ 各部局の平成22年度活動計画について

(報告・連絡事項)

ア 省エネルギー推進(CO2削減)について

イ 平成21年度監事監査報告書について

ウ 女性研究者のための人材登録サイトについて

エ 東京工業大学サウンドロゴの制定について

オ プレスリリースの雛形

カ 平成22年度関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験について

キ 平成22年度 博士学生異分野交流フォーラムの開催について

ク グローバルドクター教育院(仮称)と修士定員の改訂について

ケ 平成22年度研究助成等一覧(H22.4.9~H22.4.22受付分)について

コ 平成22年度経営協議会開催日程について

(部局等の現状と問題点について)

(その他)

ア 第4回大岡山蔵前ゼミについて

イ 次回開催について

3. その他

(1) 東工大の博物館・美術館協力事業の参加打ち切りについて

構成員より、「席上配付資料」に基づき、本学が今年度から東京国立博物館及び国立美術館のキャンパスメンバーズ参加を打ち切ったことについて、見直しを求める意見があり、研究科長から、次回評議会で確認することとしたい旨発言があった。

以上